

# 令和5年度 健康日本21推進に関する特別委員会 事業報告

## 1. 活動テーマ

「新しいニーズに対応した保健師活動の確立のため、部署横断的連携と協働により、健康日本21（第二次）の推進に寄与する。」

## 2. 目的

新たに始まる健康日本21（第三次）においては、社会環境の質の向上を基盤として、その上で個人の行動と健康状態の改善を通して、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図ることとされている。当委員会では「地域保健と職域保健の連携による健康づくり」について検討し、地域保健・職域保健が相互に連携するメリットや具体的な方策等を情報発信することで、「住民と協働ですすめるまちづくり」を展開する保健活動の一助とする。

## 3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
	R5年5月～6月	メール協議	・R5年度活動計画作成 ・課題整理等
1回	R5年6月25日(日)	東京 ふれあい貸し会議室八重洲	・地域・職域連携推進について検討
	R5年7月～9月	メール協議	・
2回	R5年10月28日(日)	静岡リタルオフィスLINK	・地域・職域連携推進について検討
	R5年11月 ～R6年2月	メール協議	
3回	R6年2月11日(日)	静岡リタルオフィスLINK	・R5年度活動まとめ等
	R6年3月	メール協議	

## 4. 結果・課題

・国において健康日本21（第二次）の最終評価および次期国民健康づくり運動（健康日本21（第三次））が告示され、令和6年度からは各自治体においても、健康寿命の延伸と健康格差の縮小に向け新たに取り組んでいくこととなる。

・今般の健康危機管理対応の経験も踏まえたうえで、今の課題に対応し部署横断的な連携を推進しつつ、「住民と協働ですすめる健康なまちづくり」の視点を持ち、地域住民・関係機関を巻き込んだ健康づくり施策を展開していくためには統括保健師及び各部署に配置されている保健師の役割は大きいと考える。

・今年度は当委員会において「地域保健と職域保健の連携による健康づくり」について検討していくにあたり、まずは自組織の取り組みや「協会けんぽ」との協働について情報共有を図り、地域保健・職域保健が相互に連携する意義やメリット等の共通理解に努めた。

・「健康日本21推進全国連絡協議会」の構成員として活動に協力した。

・厚生労働省事業「就労世代の歯科健康診査等推進事業に係る調査研究等一式 検討委員会」委員として、就労世代を対象とした自治体や職域等における効果的かつ効率的な歯科健診等の実施等

のあり方をモデル事業、レセプト分析、これまでの知見収集等、多様な観点で検討を行った。  
・厚生労働省健康・生活衛生局「健康づくりのための身体活動基準・指針の改訂に関する検討会」委員として、身体活動基準2013及びアクティブガイドの改訂について検討し、「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」を作成した。

## 5. 委員・支部長

氏名	所属
○岡本 理恵	名古屋市健康福祉局健康部健康増進課長
佐藤 尚美	川越市保健医療部国民健康保険課副参事
望月 三枝子	朝霞市福祉部生活援護課長
伊久美 佳代	藤枝市健康福祉部地域包括ケア推進課長
青島 やよい	磐田市健康福祉部健康増進課地域保健グループ長